

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ハルエネ				
代表者名	氏名	神山 仁志	役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	〒171-0022 東京都豊島区南池袋二丁目9番地9 第一池袋ホワイトビル5階				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	電気事業及びその付帯事業				
電力供給量(総量)	2,625,127	千kWh	電力供給量(長野県)	12,881	千kWh

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2017	年度	2019	年度	報告対象年度	2018	年度
------	------	----	------	----	--------	------	----

3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	弊社代表電話番号にお問い合わせいただき、希望する方に計画書の複写をメールにて送付致します。 代表：03-6773-4714 担当部署：商品企画部

(様式第1号)

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

水力、太陽光などの電力調達を検討し、再生可能エネルギーの利用拡大を目指します。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

社内「エネルギー企画課」にて、CO2排出係数の低減を目指すための取り組みを推進していく予定です。

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準年度	実排出係数	0.000753	t-CO2/kWh
2016年度	調整後排出係数	0.000717	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	2016年度以下	t-CO2/kWh
2019年度	目標削減率	2016年度以下	%
目標設定に関する説明	CO2排出係数の低い電源からの購入を図り、CO2排出係数の低減を目指します		
第一年度	実排出係数	0.000611	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000602	t-CO2/kWh
2017年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	368	千t-CO2
排出係数等の増減理由	JEPXから購入したため、排出係数が低減致しました。		
第二年度	実排出係数	0.000471	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000463	t-CO2/kWh
2018年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	902	千t-CO2
排出係数等の増減理由	JEPXから購入したため、排出係数が低減致しました。		
第三年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

C02排出係数の低い電源からの購入を図り、C02排出係数の低減を目指します

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)								
基準年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	99	%	
2016	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 (常時バックアップ)	1	%
最終年度 における 見通し ^{※1}	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	99	%	
2019	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 (常時バックアップ)	1	%
第一年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	99	%	
2017	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 (常時バックアップ)	1	%
第二年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	99	%	
2018	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 (常時バックアップ)	1	%
第三年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%	
	年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 ()		%
備考										

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気(FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2016 年度									
最終年度 における 見通し	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2019 年度									
第一年度	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2017 年度									
第二年度	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2018 年度									
第三年度	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2019 年度									
備考	日本卸電力取引所から電力を調達しております。 日本卸電力取引所から調達される電力には再生可能エネルギーも一定割合で含まれておりますが、日本卸電力取引所が電源構成比を発表していない為不明となります。								

(様式第1号)

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

水力、太陽光などの電力調達を検討し、再生可能エネルギーの利用拡大を目指します。

10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

水力、太陽光などの電力調達を検討し、再生可能エネルギーの利用拡大を目指します。

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	
その他	

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

A large rectangular area filled with a light blue color, representing a free text field. The area is bounded by a thin black border and occupies most of the page below the header.